公益社団法人 静岡県山林協会

森と人

2022年
406
11月15日

森林を守り、育て、活かし、豊かな森を未来に引き継ごう

■表紙写真　題名：「初めての木こり」　撮影地　ふもとっぱらキャンプ場　撮影者　伊藤貴規氏（磐田市）

本誌のバックナンバーは、静岡県山林協会ホームページでご覧いただけます。
ホームページには、林業への就業を考えている方の参考になる記事も掲載しています。　URL：https://www.moritohito.jp

INDEX

2 **支部だより①**（熱海市 観光建設部 観光経済課 農林水産室）
モデル林から切り開く整備の形

3 **支部だより②**（浜松市 産業部 林業振興課）
浜松ウッドコレクション2022

4・5 **地域の取組**（島田市）
森林環境譲与税と「島田市ぬくもりのある森林づくり事業」

6 **県庁だより**（くらし･環境部 環境局 環境ふれあい課）
園庭・校庭の芝生化

7 **本部情報**
令和４年度の治山・林道等の優秀工事が決まりました
県への要請活動について

8 **本部情報**
林道災害対応の支援について
林業への就業支援について

支部だより①

モデル林から切り開く整備の形

熱海市　観光建設部　観光経済課　農林水産室

林業研修を通じて行った市有林の整備と、モデル林としての今後の活用について紹介いただきました。

はじめに

本市は、静岡県の最東部、伊豆半島の東岸に位置し、西部には玄岳と日金山が連なり、この一帯は富士箱根伊豆国立公園区域となっています。

本市の総面積6,178haのうち、森林面積は3,872ha（民有林2,883ha、国有林989ha）で全体の約63%を占めています。このうち、地域森林計画の対象森林面積は2,827haであり、ヒノキを主体とした人工林面積が1,096haとなっています。

人工林の約98%は41年生以上と、資源として成熟しており、積極的な利用が望まれますが、市内の林業経営体は少なく、市外に所在する森林所有者が多いため、適正な森林管理が行いにくい状況です。また、森林の所有形態が小規模かつ分散していることから管理が遅れているのが現状です。

近年多発する豪雨等による災害防止の観点から、今後、人工林の間伐等適正な森林整備が重要となっております。また、森林が市街地に接しているためシカ、イノシシ、サルによる被害もあり、特にサルの対応には苦慮しております。

新たな取組として

本市の森林整備の取組として、平成28年度から3年間、市有林を活用し自伐型林業研修を実施して林業の新たな担い手の確保に取り組みました。現在、その研修生を中心に2つの団体が市内で森林整備に関する活動を行っています。その内の1つは市有林の整備をお願いしており、他にも積極的に森林整備、森林保全活動に取り組んでいます。

研修は、林業の基礎、チェーンソーの取り扱いを内容として行いました。実地研修では、実際に木の伐採にも取り組み、その中で、今後、モデル林として案内出来るような整備を行いました。整備から4年が経ちますが、現在でもその効果が残っており、周辺の木々は順調に生育しています。更に路網整備も一緒に行っており、道路を使い、木材を搬出利用することが出来る事例として波及することも期待しております。

現在、市では森林環境譲与税を用いた森林整備を進めるための準備段階として、森林所有者に対してアンケート調査を実施し、今後の森林整備の考え方等の把握に努めています。

このモデル林が、森林整備が遅れている現状を踏まえ、森林に対しての理解を深めるきっかけとなり、今後、森林環境譲与税を用いた森林整備の実施を考えている森林所有者に参考として案内できればと考えています。

最後に

モデル林を通して、より多くの山林所有者に森林整備についての見識を広めてもらい、市内全体の整備が円滑に進むよう努めていきます。昨年、大きな災害もあったため、森林の持つ水源の涵養、土砂の流出、崩壊防止等の公益的機能がしっかり発揮される森林となるよう森林整備の工程の道を示すことができるよう取り組んでいきたいと思います。

支部だより②

浜松ウッドコレクション2022

浜松市産業部林業振興課　神谷　匠

天竜材の利用拡大やブランド力の強化を目指し実施している表彰事業について紹介いただきました。

浜松ウッドコレクションは、機能性やデザイン性等に優れた天竜材を使用した建築物（住宅、非住宅）や木製品、木製家具等を収集・表彰し、市内外に広く発信することを通じて、天竜材の利用拡大やブランド力の強化に繋げることを目的に2017年、2018年の2回開催されました。

4年ぶりの開催となる今回は、SDGsに繋がるFSC認証材の活用や脱炭素への取組にもフォーカスして開催したところ、4部門で86点もの作品が集まりました。

審査を経て受賞作品が決まり、10月19日に表彰式を行いましたので、各部門の最優秀賞受賞作品をご紹介したいと思います。

【戸建住宅部門】

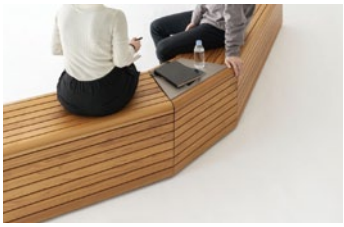
作品名:JAM+1　HOUSE（浜松市東区）
建築主:W様
設計者:一級建築士事務所しましま設計室
施工者:有限会社石牧建築

【一般建築物部門】

作品名:MARUHON　FUKUOKA
（福岡県福岡市中央区）
建築主:株式会社マルホン
設計者:香取建築デザイン事務所
施工者:黒木建設株式会社福岡支店

【木製家具部門】

作品名:stripe
設計・施工者:飛騨産業株式会社



【木製品部門】

作 品 名:木製 消毒液スタンド
設計・施工者:株式会社浜松木工

その他の受賞作品は、浜松市ホームページから確認できますのでぜひご覧ください。
※浜松市HPサイト内検索で「ウッドコレクション」と検索。
本市では、今回の取組を含め、引き続き天竜材（FSC認証材）の利用拡大を推進してまいります。
ご応募いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

地域の取組

森林環境譲与税と「島田市ぬくもりのある森林づくり事業」

島田市

▲ぬくもりのある森林づくり事業実施箇所

令和元年度から、森林環境譲与税が各地方自治体に譲与されており、各市町村は、これにより森林整備やその促進に関する事業を実施しています。

島田市では、森林環境譲与税を活用した市独自の「島田市ぬくもりのある森林づくり事業」を創設し、令和2年度から森林整備を進めています。

今回は、この事業について取材しました。

事業創設の経緯

はじめに、島田市の農林整備課を訪ね、課長補佐・林業係長の森下泰敬（やすひろ）さんと担当の伊東裕茂さんからお話を伺いました。

話は森林環境譲与税の譲与が始まった令和元年度に遡ります。令和元年度は、委託調査を行い、市内の森林を、傾斜や道からの距離などの条件により、採算性が見込める「経済林」、見込めない「非経済林」及び採算化を目指す「経済化推進林」の3区分にゾーニングしました。これは、翌年度から森林経営管理制度に基づく取組を進めていくことを念頭に行ったものでした。

そうした中、令和2年度に、大井川流域の森林整備や木材流通を担う事業者で組織するOMMネットワークから、森林整備に関する要望書が市に提出され、譲与税の使途として「非経済林」への補助が要望されます。

「経済林については、既存事業で整備できるが、非経済林については、実質的に県の『森の力再生事業』や『しずおか林業再生プロジェクト推進事業』以外の補助制度がなく、その対象とならない森林も多くある。」という声を集約した結果でした。

▲森下さん（左）と伊東さん（右）

そこで、市は、年度途中にもかかわらず方針を変え、現状では採算性が見込めない森林に対する補助事業を新設し、優先的に整備を進めることとしました。

背景

島田市には、森林組合のほか林業経営体が数社あり、以前から市が経営体と森林所有者の間に入って話をまとめるなどの協力を行ってきたことから、経済林の整備は比較的進んでいました。一方、非経済林については整備の一層の促進が課題となっていました。

また、当時は新型コロナウイルス感染症の拡大により木材需要が減退し、その先行きも不透明であったため、林業経営体には、木材生産から森林整備へと転換する動きが出ていました。OMMネットワーク内には、製材事業を行う企業の林業部門もありますが、そのような経営体でも、新規就業者が伐倒技術を習得するために切捨間伐の現場は必要だとの認識がありました。

こうした森林の状況や林業経営体の事情が、事業新設の背景にありました。

島田市ぬくもりのある森林づくり事業

新しい事業は、「森の力再生事業」を参考に検討され、「島田市ぬくもりのある森林づくり事業（以下「ぬくもり事業」）」として創設されました。

両事業を比較すると、採算性の見込めない森林の整備に対して10／10以内の補助率で補助金を交付する点は同じですが、「ぬくもり事業」は、以下の点で森の力再生事業〔人工林再生整備事業〕と大きく異なっています。

- 「森の力再生事業」が針広混交林化を目指しているのに対し、「ぬくもり事業」は非経済林から経済林へのシフトを目指しており、描いている森林の将来像が異なる。
- 「森の力再生事業」が「公益性、困難性が高く、緊急に整備すべき荒廃森林」を対象とし、緊急性に関しては下層植生がない森林等を対象としているのに対し、「ぬくもり事業」では下層植生の有無を問わない。
- 「森の力再生事業」が、列状や群状で強度の伐採を行うのに対し、「ぬくもり事業」は、間伐率20～35％の間伐を行う。

「ぬくもり事業」は、補助単価が「森の力再生事業」よりも低く設定される

一方、書類や手続きをシンプルにし取り組みやすくされています。いずれの事業で整備を進めるかは事業体の選択に委ねられていますが、「ぬくもり事業」は「森の力再生事業」の補完的な事業となっており、棲み分けがなされています。

「ぬくもり事業」により、「森の力再生事業」では対象外となっている保安林の整備ができるようになったことなどから、評判は上々とのことでした。

なお、「ぬくもり事業」では、採算性が見込める経済林の整備についても、補助率を2／3以内とした補助メニューを設けています。

事業による一体的な整備

「ぬくもり事業」では、これまでに34haほどの森林が整備されました。

昨年度、森林組合おおいがわが整備した森林を、森林経営課長の原木克司さんと担当の薗田裕輝さんに案内いただきました。

この森林は、すぐ近くにお住まいの瀧上慎之助さんの持ち山です。瀧上さんは、若い頃は自伐林家として出材や植林、保育をされていたとのことですが、他の仕事に就いてからは、所有林は手付かずになっていました。今回、隣接した森林の所有者さんが、森林組合に整備を依頼したことがきっかけで、組合が瀧上さんに一緒にどうかと声をかけたのです。所有者負担がなく事業のハードルが比較的低く取り組みやすいため、所有者に働きかけて一体的な整備がしやすい事業となっています。

▲瀧上さん

▲原木さん（右）と薗田さん（左）

原木さんに、そのほかのメリットを伺うと、申請までの事務手続きや書類が簡素で、4月早々から事業実施できる点が良いとのことでした。

様々な立場の意見を反映

制度設計について、市では、県のほか、林業経営体や森林整備アドバイザーなど様々な関係者の意見を聴きながら進めました。

このうち、当初から関わってきた、森林整備アドバイザーで島田市在住の本間康弘さんにお話を伺いました。本間さんは長年林業行政に携わった行政経験者です。

制度設計に関して伺うと、効果的で事業者にとっても使いやすい事業とするため、幅広い関係者の意見を基に事業を組み立てた方法は良かったと思うとのことでした。

なお、制度をいろいろな角度から検討できるよう、森林整備アドバイザーとしては、本間さんのほか、森林組合に長年勤めた方や林業経営体に所属している方といった様々な経歴の人々が関わりました。

▲本間さん

森林環境譲与税の使途

市では、譲与税を「ぬくもり事業」以外に、林道沿線の支障木の伐採等にも充てています。また、公共施設等の木材利用などに充てるため基金への積み立ても行っており、現在建設中の市役所新庁舎では、受水槽や議場の木質化で譲与税が使われる予定です。

一方、市内の森林では皆伐が多く行われるようになってきましたが、伐採後に再造林されない所も増えてきました。「皆伐が行われている場所は、条件が良い森林が多く、そこが天然更新になってしまうと…」と森下さんは危惧します。

資源の持続性を確保していくため、林業の適地では、再造林が行われることが重要です。このため、現在、譲与税の使途の一つとして、主伐再造林地を対象とした造林補助事業への付け増し補助を検討しています。

また、市全域を見渡すと、比較的整備が進んでいるのは山間部の森林であり、市街地に近い里山林はほとんど手入れがされていない状況ですが、放置竹林については周辺への影響が大きいことから、今後、整備を考えていきたいとのことでした。

おわりに

地域の森林の状況や課題を踏まえて譲与税の活用方法を模索し、ニーズに迅速に応えて短い期間で事業化した取組は、すばらしいと思いました。また、制度設計の段階から地域の森林を熟知する関係者の意見を反映させた手法に手堅さを感じました。

今後も、森林環境譲与税を有効に活用し、島田市の実情に即した森林整備がさらに進めばと思います。

県庁だより

園庭・校庭の芝生化

くらし・環境部　環境局　環境ふれあい課

芝生化についての技術的支援、ロボット芝刈機の試験導入、日陰でも育つ芝種の普及などの取組について紹介いただきました。

はじめに

芝生の広がる景色や芝生の感触に心地よさを感じたことのある方は多くいらっしゃると思います。緑のじゅうたんとも言われる芝生には、熱環境の改善、運動時の衝撃吸収、砂じんの防止など様々な効果があります。

県では、県土の緑化を進める取組のひとつとして、芝生の普及を進めています。公益財団法人静岡県グリーンバンクの御協力などをいただきながら、幼稚園や学校などの園庭・校庭の芝生化を重点に、芝生を活用したスポーツや交流の場の形成や美しいまちなみづくりに取り組んでいます。

校庭芝生化の事例

令和3年度には、県立伊豆の国特別支援学校（伊豆の国市寺家、令和3年4月開校）の校庭約2,900㎡の芝生化をお手伝いしました。

芝生化にあたっては、成長が早く、多くのサッカー場でも使われている「バミューダグラス」という種類の芝を使用し、根がついた芝生の切れ端を土を入れたプラスチックトレイに植え、ある程度の大きさまで育てた「ポット苗」を校庭に植えつける方法で芝生化しました。

校庭を芝生化すると維持管理に手間がかかるので、なかなか踏み出せないという声をよく聞きますが、芝生がもたらす良い効果は言葉では語り尽くせません。管理方法のポイントを静岡県芝草研究所の職員がお伝えし、技術的支援をさせていただきます。

▲芝生化した校庭

ロボット芝刈機の試験導入

令和4年度は、ロボット芝刈機が芝刈り作業を省力化する有効性を検証するため、ロボット芝刈機取扱店、モニター（県内3箇所の高等学校、幼稚園、こども園）及び県の3者で協定を結び、ロボット芝刈機の試験導入を行いました。

8月末に開催したロボット芝刈機見学会では、公園管理者、保育園・幼稚園、行政など幅広い層から参加があり、「ロボット芝刈り機の導入を検討していたので、参考になった。」などの意見が寄せられました。

▲試験導入したロボット芝刈り機
HONDA　Miimo（ミーモ）

日陰でも生育する芝生

静岡県芝草研究所では、平成29年3月に作成した「誰にでもできるバミューダグラスによる園庭・校庭の芝生管理マニュアル」に続き、令和4年3月に「日陰になりやすい中庭などに!セントオーガスティングラスによる芝生管理マニュアル」を作成しました。

セントオーガスティングラスはバミューダグラスのように擦り切れからの回復に優れた芝種ではありませんが、学校の中庭など日陰になりやすい場所の芝生化に向いており、マニュアルでは維持管理する方法をわかりやすく説明しています。

▲「日陰になりやすい中庭などに！
セントオーガスティングラスによる芝生管理マニュアル」

おわりに

静岡県環境ふれあい課では、園庭・校庭の芝生化だけではなく、芝生に関する様々な相談を受け付けています。お困りのことがあれば、お気軽にお問合せください。

静岡県　環境ふれあい課
電話番号　054-221-2849

本部情報

令和4年度の治山・林道等の優秀工事が決まりました

静岡県山林協会では、治山・林道・森林整備等工事の中で、優れた工事を顕彰し、施工技術の向上等を図る「治山・林道等コンクール」を毎年実施しています。

今年度も各農林事務所から推薦をいただき、審査の結果、治山工事の部8件、林道工事の部3件、森林整備等工事の部1件に対して山林協会長賞を授与することとし、10月28日（金）に表彰式を行いました。

表彰された工事は、急峻な地形や厳しい気象環境など施工条件が厳しい場所で、いずれも作業員の安全確保に十分配慮しながら、高い技術力を発揮された工事であり、工事関係者の皆様の日頃の御努力の成果が表れていることが高く評価されました。

部門	受賞者	施工地	工事名
治山工事	丸宇興業 株式会社	賀茂郡西伊豆町大沢里	令和２年度治山（復旧） 広川原平工事
	成和建設 株式会社	伊豆の国市中	令和３年度治山（予防） 一杯水工事
	株式会社 成和建設	富士市南松野	令和３年度治山（復旧） 桑木穴工事
	株式会社 望月土木	静岡市清水区興津本町	令和３年度県単治山（県営） 登ノ段（２繰越）工事
	株式会社 中山建設	藤枝市滝沢	令和２年度治山（復旧） 菩提山市ノ沢工事
	株式会社 若杉組	掛川市浜川新田	令和２年度治山（防災林造成） 浜川新田工事
	赤堀産業 株式会社	浜松市西区舘山寺町	令和３年度治山（予防） 舘山工事
	株式会社 飛鳥 静岡営業所	浜松市天竜区龍山町瀬尻	令和２年度治山（緊急） ハサカ山工事
林道工事	東静建設 株式会社	駿東郡小山町竹之下	令和２年度山村道路網整備 金時線（２ゼロ債）工事
	ミツヨシ工業 有限会社	静岡市葵区口坂本	令和２年度道整備推進交付金 竹ノ沢線¥１工区工事
	株式会社 西村組	浜松市天竜区春野町花島	令和２年度ふれあい林道整備 大尾大日山線１工区工事
森林整備等工事	赤堀産業 株式会社	浜松市浜北区根堅	令和３年度観光施設整備事業費 森林公園林道等安全施設整備工事

県への要請活動について

山林協会では、静岡県森林組合連合会、静岡県木材協同組合連合会、静岡県山林種苗協同組合連合会、静岡県椎茸産業振興協議会、公益社団法人静岡県林業会議所と連携して、9月9日に、令和5年度森林・林業施策に係る要請を、川勝知事、森副知事及び関係部長に対して行いました。

当協会からは、「脱炭素化に向けた森林・林業施策の推進」、「気候変動に対応した森林整備・治山対策の推進」、「林業を支える人材の確保支援」、「持続可能な林業のための森林・林業イノベーションの推進」、「違法盛土に対する森林法に係る対策の強化」の5項目を要請しました。

本部情報

林道災害対応の支援について

近年、雨の降り方が変化してきており、全国各地で大きな災害が頻発しています。林道の災害復旧については、管理主体である市町等が県の支援の下で行っていますが、今年度から、大規模な災害が発生した場合、県からの要請を受けて、当協会が森林整備アドバイザーを派遣し技術的な支援を行うこととしました。

台風15号により県中西部を中心に林道災害が多発したことから、要請に基づきアドバイザーが現地に赴き、現地調査や復旧工法の検討などについて助言を行いました。

林業への就業支援について

第1回林業就業支援研修を、10月17日～28日に県森林・林業研究センター（浜松市）、エコパ（袋井市）ほかで実施し、7名の方が修了しました。

また、第1回しずおか森林の仕事見学会を、10月29日に浜松市内の林業の現場や製材工場などで実施し、15名の方が参加されました。

11月～2月は、下記のとおり予定しています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止する場合があります。　※※第2回しずおか森林の仕事見学会（11月19日）は募集済みです。

①第２回しずおか森林の仕事ガイダンス
内　　容：新規就業者募集を行う林業経営体との相談会
日　　時：令和4年11月26日（土）10時～16時
場　　所：日本大学三島駅北口校舎（三島市）

②第３回しずおか森林の仕事見学会
内　　容：伐採現場や丸太市場、製材施設の見学
日　　時：令和4年12月17日（土）9時半～15時
場　　所：伊豆市
募集定員：15名程度（先着順）

③第２回林業就業支援研修
内　　容：チェーンソーの特別教育、刈払機講習、小型建設機械の運転講習等
日　　時：令和5年1月16日～26日（10日間）
場　　所：エコパ（袋井市）ほか
募集定員：15名程度
募集期限：令和4年12月16日

④第３回しずおか森林の仕事ガイダンス
内　　容：新規就業者募集を行う林業経営体との相談会
日　　時：令和5年2月11日（土）10時～16時
場　　所：清水テルサ（静岡市清水区）

「森と人」　公益社団法人　静岡県山林協会
編集・発行　静岡市葵区追手町9－6　県庁西館9F
TEL:054-255-4488/FAX:054-255-4489

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C009166

第39回
しずおか森林写真コンクール受賞作品

最優秀賞

初めての木こり

伊藤　貴規（磐田市）

撮影地：ふもとっぱらキャンプ場

審査講評

審査委員長
竹林　喜由

今年度の応募につきましては、昨年に続く新型コロナ禍という状況下、多くの祭りや行事も中止となり撮影の機会も少なくなっているためか、応募点数314点、応募者数107名(前年度358点、125名)と前年と比べ減少しております。

今回審査会は、去る9月21日に8名の審査員により行われました。
応募作品は概ねプリント6割、データー4割で写真の内容は年々レベルが上がってきたように感じられました。

ただ、昨年も申し上げましたが写真的には良い作品でもコンクールの趣旨にそぐわないものも散見されましたので、応募規定などを熟読の上ご応募くださるようお願いいたします。

最優秀賞（静岡県知事賞）は、**伊藤貴規**氏の「初めての木こり」に決定しました。

富士宮市の朝霧高原にある、ふもとっぱらキャンプ場での林業体験なのでしょうか、少女が地元の林業関係者の方からのこぎりの使い方を教わりながら木を切る体験をしているところのようです。

少女は撮影者のお子さんなのでしょうか、曾祖父、祖父が木こりだったので筋が良いと褒められたとのコメントがあります。

二人の人物の表情がとても良く、ほほえましい場面を的確に捉えたカメラポジションも最適でした。

特　選（静岡県山林協会長賞）は、**吉川康氏氏の「自然に挑む」、宮崎泰一氏の「森林の世代交代」**、同（静岡県グリーンバンク理事長賞）は、**横山功氏の「大井川接阻峡のトロッコ電車関の沢鉄橋遠望」**に決定しました。

「自然に挑む」 なんともびっくりな伐採作業風景です。高所で足場がない為作業員がロープに吊り下がりながら木を伐採している状況なのでしょうか、横位置で撮られているため高さが分かりづらいので、縦位置にすればもっと高さが表現でき、特殊伐採のすごさが出せたように思います。

しかし、珍しい場面に出合ったチャンスをものにした腕前は確かです。

「森林の世代交代」 夏富士をバックに伐採されつつある森林とまだ成長段階の幼木林を対比して森林の世代交代を表現しています。

富士の中腹にかかる細い雲が画面に変化を出しており、高原の澄んだ空気と夏の暑さも同時に感じられる風景写真になっています。

画面構成、カメラポジションなど完璧でベテランらしい作者の力量を感じます。

「大井川接阻峡のトロッコ電車関の沢鉄橋遠望」 秋の大井川接阻峡の風景です。深い渓谷の紅葉の原始林の中に関の沢鉄橋が白く輝いて見えます。遠景には南アルプスの山も写されており、奥深い山容が表現されています。

良い撮影ポイントと時期、気象条件、光の状態が最高で技術的にも申し分のない美しい作品だと思います。

準特選（静岡県山林協会長賞）は、**清水輝美氏「ロープ掛」、川岸和花子氏「新緑を舞う」、窪田隆氏「音の無い森」、石崎由佳氏「生きる力」**、同（静岡県グリーンバンク理事長賞）は、**細川純也氏「森林に咲く」**に決定しました。

「ロープ掛け」 公道沿いの高木を伐採するときに、伐採した木を安全な場所に倒すためにロープをかけている状況とのことです。これだけの太い木を伐採する作業は危険度も高く慎重に作業を進めなければならず、作業員の緊張した雰囲気が伝わってくる作品になっています。

ただ、作業員だけをアップしているため周りの状況が見られないのが少し残念に思います。

「新緑を舞う」 周智郡森町に最近オープンした、マウンテンバイクの専用施設での撮影とのことです。森林と親しみながらバイクスポーツを楽しんでいる様子が写されており、ジャンプした瞬間を形よく切り取っています。

欲を言えば逆光ですのでストロボなどの補助光を入れて人物とバイクを浮き上がらせたらもっと良くなったと思います。

「音の無い森」 雪の伊豆山稜線歩道での撮影とのことです。

霧に包まれた林の中に佇む一本の老木、木には神が宿るとも言われますが、見方によっては妖怪にも見えてくるような気がします。

静かな林の湿った空気感と静寂感が見事に表現されて、まさに音のない森が表現されています。技術の確かさが感じられる素晴らしい作品だと思います

「生きる力」 賀茂郡松崎町の長九郎山での撮影とのことです。大きな岩の上に四方に根を張って生長している木の生命力には驚くばかりです。

曇り日でしょうか光線状態が柔らかく、コケや樹々の葉の薄緑の色が美しく描写されています。この作品は木の生命力の逞しさをストレートに表現した好感 の持てる作品です。

「森林に咲く」 裾野市須山愛鷹山の登山口での撮影とのことです。薄暗い林の中にミツマタの花が咲いています、ミツマタの木は日本のお金（お札）となる和紙の原料となる低木で花は春に咲きます。

この写真は光の状態が良く幻想的に表現されています。

フレーミングも過不足なく、被写界深度を深めに撮影しており技術的にも秀逸だと思います。

このほかに入選18点が選ばれましたが、いずれも力作でどれが入賞してもおかしくない作品ばかりでした。ただ、一つの作品でフレーミングを変えて二枚応募するのはあまり感心できません、どちらかに絞って挑戦してください。次回も多数の力作の応募があることを期待いたします。

特 選

自然に挑む

吉川　康氏（静岡市）

撮影地：駿東郡小山町

特 選

森林の世代交代

宮崎　泰一（富士市）

撮影地：富士市大淵

特 選 静岡県グリーンバンク

大井川接阻峡のトロッコ電車
関の沢鉄橋遠望

横山　功（焼津市）

撮影地：大井川最奥接阻峡地先

準特選

ロープ掛け

清水　輝美（浜松市）

撮影地：浜松市浜北区根堅

準特選

新緑を舞う

川岸 和花子（森町）

撮影地：周智郡森町森三倉
森町バイクパークミリオンペタル

準特選

音の無い森

窪田　隆（川崎市）

撮影地：伊豆市

準特選

生きる力

石﨑　由佳（西伊豆町）

撮影地：賀茂郡松崎町
長九郎山山中

準特選 静岡県グリーンバンク

森林に咲く

細川　純也（裾野市）

撮影地：裾野市須山　愛鷹山登山口

入 選

楽しいツリークライミング
鈴木　政雄（磐田市）
撮影地：浜松市浜北区尾野　バードピア浜北

大イチョウの下で
松浦　嘉人（浜松市）
撮影地：浜松市北区引佐町　渋川

森林の中を流れる仙厳の滝
佐藤　　守（浜松市）
撮影地：浜松市北区滝沢

森の恵み
小林　康男（富士市）
撮影地：富士市南松野粒良野

メタセコイヤの秋
加藤　康弘（浜松市）
撮影地：浜松市　佐鳴湖公園

威厳
小栗　　進（浜松市）
撮影地：浜松市天竜区阿多古　洞泉寺

市民の守り神
田中　　巧（浜松市）
撮影地：浜松市南区白羽町　中田島海岸

自然の芽吹き
飯田　政巳（磐田市）
撮影地：浜松市天竜区草木
信州街道草木トンネル近く

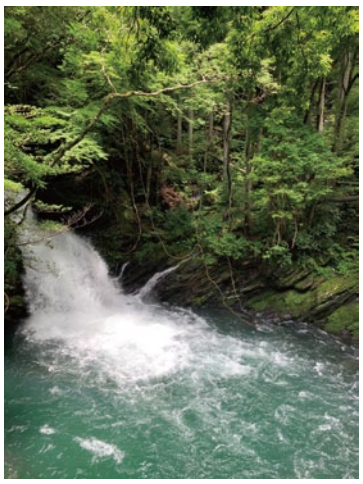
天空の里
森　　康宏（愛西市）
撮影地：静岡市　有東木

親子（女性）で指揮をとる
塚本　清次（静岡市）
撮影地：静岡市清水区三保

入 選

新緑に包まれて
勝又　守洋（裾野市）
撮影地：伊豆市筏場

森の巨人
岩浅　利泰（御殿場市）
撮影地：沼津市西浦江梨大瀬
大瀬崎ビャクシン樹林



緑のダムの恵み
髙橋　美子（浜松市）
撮影地：浜松市天竜区龍山町大嶺
白倉峡

主伐の快音
永田　雅一（富士宮市）
撮影地：富士宮市熊久保

新緑の森
中澤　佑介（長浜市）
撮影地：島田市川根町家山

Tree Story（ツリーストーリー）
Graham Sayer（島田市）
撮影地：島田市川根町家山
東海道自然歩道八垂の滝近く

神徳宿る大楠
阿部　浩典（富士宮市）
撮影地：熱海市　来宮神社

新たな命を吹き込む
手塚　光次（掛川市）
撮影地：浜松市北区引佐町

令和４年度
治山・林道等コンクールの優秀工事（12工事）

受賞の皆様

◎治山工事部門

丸宇興業㈱
西伊豆町大沢里

成和建設㈱
伊豆の国市中

㈱成和建設
富士市南松野

㈱望月土木
静岡市清水区興津本町

㈱若杉組
掛川市浜川新田

㈱中山建設
藤枝市滝沢

赤堀産業㈱
浜松市西区舘山寺町

㈱飛鳥 静岡営業所
浜松市天竜区龍山町瀬尻

公益社団法人 静岡県山林協会　TEL 054-255-4488　https://www.moritohito.jp

◎林道工事部門

東静建設㈱
小山町竹之下

ミツヨシ工業(有)
静岡市葵区口坂本

㈱西村組
浜松市天竜区春野町花島

◎森林整備等工事部門

赤堀産業㈱
浜松市浜北区根堅

※来年度もより多くの工事等が推薦されることを願っています。(事務局)